

# 総務文教常任委員会

## 総合給食センターの物価高騰対策により給食費は据え置き

11月定例会の総務文教常任委員会では、定年年齢引上げに伴う条例改正などについて審査されました。補正予算では、物価高騰対策などについて議論されました。

### 令和4年度 総務部・教育委員会関係の一般会計補正予算 主要内容

#### 補正予算 第9号

移住支援事業費補助金	220万円	国 1/2 県 1/4 仙北市 1/4( 地方創生推進交付金 )
防災行政無線維持管理費	49万円	Jアラートに対応した次世代型に更新
給食センター管理運営費	397万円	燃料調整単価上昇等に伴う光熱費の増額補正
給食材料費	462万円	食料品価格高騰による食材費の増額補正

#### 補正予算 第10号

ふるさと納税ふるさと便事業費	2億5,491万円	ふるさと納税寄付金の増額見込みに伴う返礼品や送料等の関係経費
ふるさと仙北応援基金積立金	4億円	ふるさと納税寄付金の増額見込みに伴う積立金の増額

## ここが知りたい 議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

### ◆債務負担行為補正について

質問 田沢湖庁舎LED照明賃貸借について

の内容は。(限度額421万円)

答弁 条件付き一般競争入札を検討している。契約後、作業が終了した翌月からリース開始となり、5年間リース会社の資産を借りる。その契約が終了した段階で市の所有となる。

### ◆総合給食センター

◆関連について

質問 管理運営費の増額

補正はいつごろまでの分を見込んでの金額なのか。

答弁 今年度末までの分を12月時点での燃料調整単価で試算しての金額である。

最近の月々の報告では、燃料調整単価が上昇中なので、更なる増額補正が必要となるのではないかと考えている。

質問 1日あたりの光熱

費はどれくらいなのか。

答弁 およそ18万7千円となる。衛生管理の面か



■リースによるLED化により経費削減が見込まれる田沢湖庁舎



■光熱費及び食材の高騰を増額補正で対応する総合給食センター

からも節約できるものではないので大変苦慮している。

### ◆ふるさと仙北応援基金について

質問 今年度のふるさと納税が好調な要因はどこにあるのか。また、実際に使用できる割合は。

答弁 ポータルサイトを増やしたことや返礼品を増やしたことにより、増加につながっていると考えている。経費を差し引くと約4割が実際に使用できる額となる。

# 市民福祉常任委員会

## 特別会計介護施設にしき園 今年度も一般会計から繰入れ(2,675万円)

11月定例会の市民福祉常任委員会では令和4年度一般会計補正予算、にしき園の特別会計補正予算、角館総合病院の病床削減案や東風の湯の指定管理者の指定案などが審査されました。

### 令和4年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算 主な内容

介護保険施設、障害者支援施設、保育施設への光熱費助成事業費	1,377万円	原油価格高騰対策として県と市が1/2ずつ負担し、光熱費を助成する費用
保育所等給食費価格高騰対策事業費	87万円	食料品価格高騰対策で私立保育所への給食費の助成
放課後児童対策事業費	327万円	マロンクラブの水道蛇口に取り付ける自動水栓購入費とマロンクラブの除雪委託料及びシルバー人材センターへの派遣委託料の増額費用
歯科診療所管理運営費	664万円	田沢湖歯科診療所の口腔外サクシヨンの更新及び歯科ユニット給水装置の修繕
介護保険特別会計繰出金	2,675万円	にしき園の利用者減少によるサービス収入減収等による補てん費用

### 令和4年度仙北市介護保険特別会計補正予算の質疑

**一般会計から2,675万円繰入れすることについて**  
**質問** にしき園の入所予定者がコロナ禍により入所できなかつたり、人件費増や光熱費増が繰入金  
 の増額要因とのことだが今後の改善策は。

**答弁** 現在8名の入所準備を進めており、待機している方々も80数名いるので、入所率を向上させる努力をしていく。

**質問** 以前、にしき園の民営化を検討したが、今後の民営化は考えていないのか。

**答弁** 今のところ、民営化は考えていない。まずは直営を維持していく。



■ コロナ禍が終息し入所率の向上が待たれるにしき園

マロンクラブの水道蛇口に取り付ける自動水栓について  
 質問 停電時にも利用可能か。  
 答弁 市で購入し取り付けるモデルは電池式であるため停電時にも問題なく利用可能である。

一般会計補正予算の主な質疑

ここが知りたい  
 議論のポイント

### 角館総合病院の病床数を改正することについての質疑

**精神病床を8床削減し198床に縮小することについて**

**質問** 8床削減してどのようなメリットがあるのか。

**答弁** 病床規模が200床未満になることで、診療報酬の算定において、減算の基準が緩和され加算条件が有利になるメリットや、薬品の購入制度が緩和されることなどにより増収が期待できる。

**質問** 病室は削減しないで定員を減少させることで病床数を減らすのが、例えば、2人部屋だった病室が1人部屋になっても差額ベット料は発生しないのか。

**答弁** トイレと風呂がある1人部屋だけが個室料金であり、それ以外の病室については、仮に4人部屋を1人部屋にしても個室料金は発生しない。

### 仙北市民浴場 東風の湯の指定管理者の指定についての質疑

(株)おもてなし仙北への指定管理者の指定について

**質問** 東風の湯は、職員不足により一人にかかる負担が大きく多忙を極めている実態がある。市としてもしっかり把握し、指導・助言していくべきと思うがいかがか。

**答弁** 人材不足は指摘のとおりで大きな課題と認識している。所管課と指定管理者側が互いに問題点を抽出し、業務改善を進めて働いている方々に重い負担がかからないような取り組みが必要と考えている。

**質問** 東風の湯に限らず、公の施設の指定管理については、維持管理していくだけではなく、創意工夫し、どのようにして発展させるのか、という観点を持ち運営するべきではないか。

**答弁** 今後も地域の方々に継続してご利用いただくためにはどうしたらよいかなどの協議を行うなど、市側と指定管理者側が情報共有して取り組んでいきたい。

# 産業建設常任委員会

## 上下水道料金改定について水道運営審議会・下水道使用料等検討委員会より答申書提出される！

産業建設常任委員会では令和4年度一般会計補正予算などについて審査しました。地域おこし協力隊事業費、農業委員会総務費、市有林造林保育費、森林総合研究所造林保育費、上下水道費等が案件です。

### 令和4年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の一般会計補正予算 主な内容

地域おこし協力隊事業費	△178万円	4月から募集も9月まで応募なく減額、10月より採用
農業委員会総務費	31万円	農業委員、農地利用最適化推進委員の費用弁償、令和3年度決算後の11月に未払い判明による補正
農地集積加速化基盤整備事業費	111万円	生保内南地区の整備計画変更による補正
農業水利管理体制強化支援事業費	△43万円	八津、鎌足地区の面積要件による減額
ため池等整備事業費負担金	△300万円	国庫事業採択による
花葉館施設整備事業費	451万円	源泉ポンプのオーバーホール等
市有林造林保育費	△357万円	仙北市森林経営計画見直しにより搬出間伐を予定していたが延期により減額
森林総合研究所造林保育費	△171万円	国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターとの分収林契約地の保育間伐、除伐を行う予定であったが入札不調により減額

## ここが知りたい 議論のポイント

産業建設常任委員会での主な質疑

### 上下水道料金改定について

**質問** 下水道の料金改定について、諮問機関である下水道使用料等検討委員会から答申を受けたとのことだが、料金改定は、令和5年9月1日で確定なのか、またその日付となった理由について伺う。

**答弁** 答申では、下水道事業の現状から一刻も早い値上げが必要であることから、令和5年9月1日が望ましいという結果になった。委員会からは、市民に対して、わかりやすい資料を作成し、説明を行い周知と理解を得ることが必要だとの意見があった。

**【意見】** 食料品等、物価が高騰しており、さらに電気、ガス料金等の大幅な値上げが検討されており、市民生活を圧迫している。現状をしっかりと認識して、市民から理解を得られるように、慎重に検討して欲しい旨の意見があった。また、水道料金について

度も来年度以降、再度検討するという



■今後の上下水道料金改定を検討している上下水道課の窓口



■予定した間伐などが実施されず減額された森林整備事業

答申についても、慎重に検討して欲しい旨の委員からの意見があった。

仙北市かたまえ山森林公園・山の幸資料館・森林学習資料館の指定管理について

**質問** 山の幸資料館の展示物はどのような状態か、また、入館者の状況はどうか。

**答弁** 展示物と入館状況については、現在は老朽化してきて雨漏りも発生するような状態のため、一般の方に解放していない。展示物は雨漏り等からの影響のないよう保存している。

**【意見】** 建築当時に地元の方から寄付していただいた物が展示されている施設のため大切に扱ってほしい。雨漏りが発生している状態で指定管理者へ施設の管理をお願いするというのは市としてよろしくないのではないか。破損等が起こって責任問題が起こる前に最低限の修繕等は行って欲しいとの委員からの要望があった。